

農業 経済

現代日本の農業経済構造と外国人農業労働力調達

講師：軍司 聖詞

経営経済農学(農業経済学・農業経営学)を志す農学徒・経済学徒・経営学徒にとって、まずはじめに行わなければならないのは、現代日本の農業経済構造を正確に把握し、その構造が抱える問題に対してアプローチする方法を選択すること、すなわち広範な農業経済学・農業経営学分野の「何を学ぶのか」を決めることである。本講義では、統計データ等から現代日本の農業経済構造が抱える諸問題を指摘するとともに、経営経済農学研究の現在を概説し、特に、これまで経営経済農学ではほとんど捉えられて来なかった農業労働力分野に大きな問題が生じていることを指摘する。

次に、地域社会において深刻化している少子高齢化・過疎化による農業労働力不足への対応として、こんにち特に注目されている外国人農業労働力調達を捉え、その利欠点を考察する。

※本講義は農業高校農業経済科の生徒を想定しているため、基礎的な農業経済用語の解説は行わない

■ 受講人数の目安：特になし

■ 所要時間の目安：90分

■ 高校でご準備いただきたいもの：PDFスライドによるプレゼンテーションを行うことができる環境

社会 科学

社会科学方法論：卒業研究・卒業論文のあり方

講師：軍司 聖詞

福知山公立大学地域経営学部は、適切な科学方法論に沿って卒業研究を行い一定水準の学術的意義を有する卒業論文を提出した者に、学士学位を与えている。

学士学位取得を目指す社会科学徒にとってまずはじめに行わなければならないのは、卒業年次修了時に何を達成している必要があるのか、すなわち、適切な科学方法論に沿った一定水準の学術的意義を有する卒業論文とは何かを認識することであり、この執筆に必要となる素養の十分な獲得を企図して、卒業年次までの学修計画を立てなければならない。

本講義では、社会科学徒に求められる卒業論文について、その構成と執筆手順を概説するとともに、卒業研究に採用されることの多い科学方法論である論理実証主義について概説する。

※本講義は、社会科学系学部に進学する生徒のみを想定している。事情が異なる人文学系・理系生徒は誤解を生じやすいため受講を勧奨しない

■ 受講人数の目安：特になし

■ 所要時間の目安：90分

■ 高校でご準備いただきたいもの：PDFスライドによるプレゼンテーションを行うことができる環境